

ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux Ver4.0  
ESMPRO/AC Advance Ver4.0 (Linux 版)  
ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション Ver4.0 (Linux 版)  
ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver4.0 (Linux 版)  
ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション Ver4.0 (Linux 版)  
ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver4.0 (Linux 版)  
共通アップデート手順書  
<ESMARC40L-05-202312>

目次

第1章	はじめに.....	2
1. 1	変更履歴.....	2
第2章	アップデートインストール事前準備.....	4
第3章	ESMPRO/AC for Linuxのアップデートインストール手順.....	5
3. 1	製品CDパッケージのアンインストール.....	5
3. 2	依存関係にあるパッケージのインストール.....	7
3. 3	ESMPRO/AC for Linux のアップデートインストール.....	8
3. 3. 1	コマンドラインでのアップデートインストール.....	8
3. 3. 2	Management Consoleでのアップデートインストール.....	11
第4章	ESMPRO/AC for Linux アンインストール手順.....	14
4. 1	コマンドラインでのアンインストール.....	14
4. 2	「Management Console」でのアンインストール.....	15
第5章	Windowsクライアント インストール手順.....	16
5. 1	製品CDパッケージのアンインストール.....	16
5. 2	Windowsクライアントのインストール.....	16
第6章	Windowsクライアント アンインストール手順.....	19
6. 1	Windowsクライアントのアンインストール.....	19

# 第 1 章 はじめに

この手順書は 以下製品に対応したアップデート手順書です。以降、製品名は略称で表記します。

製品名略称	製品名
AC	ESMPRO/AutomaticRunningController for Linux Ver4.0
ACA	ESMPRO/AC Advance Ver4.0(Linux 版)
ACAM	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション Ver4.0 (Linux 版)
ACBE	ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver4.0 (Linux 版)
ACBM	ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション Ver4.0 (Linux 版)
ACEM	ESMPRO/AC Enterprise マルチサーバオプション Ver4.0 (Linux 版)

## 1. 1 変更履歴

[ESMARC40L-05-202312] — 2023/12/26

### 機能強化

- ✓ Red Hat Enterprise Linux 9 に対応

[ESMARC40L-05-202102] — 2021/02/10

### 機能強化

- ✓ Red Hat Enterprise Linux 8 に対応

### 障害対応

- ✓ トリム発生後にトリムを越える入力電圧になった際、Web機能である AMC(AC Management Console)の画面表示が「トリム」から「バッテリー運転」に切り替わらない不具合を修正。
- ✓ 連動装置(UPS)の電源異常時に、制御端末につながる電源装置(UPS)が停止しないことがある不具合を修正。
- ✓ ヘルプの表示が文字化けする不具合を修正。

[ESMARC40L-04-202007] — 2020/07/17

### 機能強化

- ✓ CLUSTERPRO X 4.1 for Linux との連携に対応

### 障害対応

- ✓ ネットワークインターフェースが 15 個以上存在する RHEL7 環境において、ESMPRO/AC サービスが異常終了する不具合を修正
- ✓ 連動装置(ストレージ)の UPS で電源異常が発生した場合、ストレージを利用しているサーバに接続されている電源装置の UPS が停止しない問題に対応
- ✓ 「制御端末からリブート」の設定が行われている UPS が、復電時に制御端末から起動されない問題に対応

[ESMARC40L-03-201707] — 2017/07/14

### 機能強化

- ✓ Smart-UPS SRT 5000(N8142-107)に対応。
- ✓ スケジュール運転の設定項目に、国民の祝日「山の日」を追加。

**[ESMARC40L-02-201510]** – 2015/11/04

**障害対応**

- ✓ ESMPRO/AC サービスが稼動中、OS のシスログにエラーメッセージを記録し続ける場合がある問題を修正。

**[ESMARC40L-01-201504]** – 2015/04/21

**機能強化**

- ✓ Smart-UPS 装置による冗長電源構成において、スケジュール運転を行っている場合、スケジュールによる起動時に、UPS 電源 ON のタイミングで約 6 分間のずれが発生する場合があります問題を改善。

**障害対応**

- ✓ AC Management Consoleによるマルチサーバ構成において、複数の制御端末および複数のUPSを登録した構成における電源管理処理の問題を修正。
  - ・誤った停止要求をUPSへ行う場合がある問題を修正
  - ・一斉停電によるシャットダウン時に各制御端末の停止タイミングが異なる問題を修正。
  - ・LCD パネル付き Smart-UPS 装置を停止できない場合がある問題を修正。

## 第2章 アップデートインストール事前準備

アップデートファイルは製品毎に異なるサポートポータルに掲載しております。購入されている製品のアップデートファイルをダウンロードし、解凍してください。  
全製品のアップデートファイルを解凍した場合、以下のファイルが作成されます。

.	
-- AC	
-- esmac-4.0.5-1.el6.i686.rpm	AC アップデート用 rpm ファイル(RHEL6 用)
-- esmac-4.0.5-1.el7.i686.rpm	AC アップデート用 rpm ファイル(RHEL7 用)
-- esmac-4.0.5-1.el8.i686.rpm	AC アップデート用 rpm ファイル(RHEL8 用)
`-- esmac-4.0.5-1.el9.i686.rpm	AC アップデート用 rpm ファイル(RHEL9 用)
-- ACA	
-- esmaca-4.0.5-1.el6.i686.rpm	ACA アップデート用 rpm ファイル(RHEL6 用)
-- esmaca-4.0.5-1.el7.i686.rpm	ACA アップデート用 rpm ファイル(RHEL7 用)
-- esmaca-4.0.5-1.el8.i686.rpm	ACA アップデート用 rpm ファイル(RHEL8 用)
`-- esmaca-4.0.5-1.el9.i686.rpm	ACA アップデート用 rpm ファイル(RHEL9 用)
-- ACAM	
-- esmacam-4.0.5-1.el6.i686.rpm	ACAM アップデート用 rpm ファイル(RHEL6 用)
-- esmacam-4.0.5-1.el7.i686.rpm	ACAM アップデート用 rpm ファイル(RHEL7 用)
-- esmacam-4.0.5-1.el8.i686.rpm	ACAM アップデート用 rpm ファイル(RHEL8 用)
`-- esmacam-4.0.5-1.el9.i686.rpm	ACAM アップデート用 rpm ファイル(RHEL9 用)
-- ACBE	
-- esmacbe-4.0.5-1.el6.i686.rpm	ACBE アップデート用 rpm ファイル(RHEL6 用)
`-- esmacbe-4.0.5-1.el7.i686.rpm	ACBE アップデート用 rpm ファイル(RHEL7 用)
-- ACBM	
-- esmacbm-4.0.5-1.el6.i686.rpm	ACBM アップデート用 rpm ファイル(RHEL6 用)
`-- esmacbm-4.0.5-1.el7.i686.rpm	ACBM アップデート用 rpm ファイル(RHEL7 用)
-- ACEM	
-- esmacem-4.0.5-1.el6.i686.rpm	ACEM アップデート用 rpm ファイル(RHEL6 用)
-- esmacem-4.0.5-1.el7.i686.rpm	ACEM アップデート用 rpm ファイル(RHEL7 用)
-- esmacem-4.0.5-1.el8.i686.rpm	ACEM アップデート用 rpm ファイル(RHEL8 用)
`-- esmacem-4.0.5-1.el9.i686.rpm	ACEM アップデート用 rpm ファイル(RHEL9 用)
-- Scripts	
-- bkconfig.sh	設定ファイルのバックアップ用スクリプト
`-- reconfig.sh	設定ファイルのリストア用スクリプト
-- Windows/*	Windows クライアント(マルチサーバ構成データ編集)

解凍したファイルを、アップデート対象サーバの任意ディレクトリに配置してください。

クライアント製品のアップデート方法に関しては、「<製品名フォルダ>/Windows/」フォルダ内にある README.TXT を参照ください。サーバ製品（アップデート用 rpm ファイル）のアップデート方法に関しては、後述の章にて説明します。

### 注意)

以降、アップデートファイル名ならびにアップデートパッケージ名の「esmac」、「esmacam」、「esmacbe」、「esmacbm」、「esmacem」をまとめて「esmacxx」と表記することがあります。

## 第3章 ESMPRO/AC for Linuxのアップデートインストール手順

### 3. 1 製品CDパッケージのアンインストール

製品 CD を用いた AC 関連製品のインストールをしていない場合（新規インストールの場合）は、本節の作業は不要です。次節「依存関係にあるパッケージのインストール」に移ってください。

製品 CD を用いてすでに AC 関連製品をインストールしている場合には、下記に記載する手順にて、設定ファイルのバックアップならびにアンインストールを実施してください。

#### (1) ESMARC40L-04-202007 以前のアップデートの削除

##### 補足)

以下に表記している「**esmacxx**」は対象製品に合わせて読み替えてください。AC は「**esmac**」、ACA は「**esmaca**」、ACBE は「**esmacbe**」、ACAM 「**esmacam**」、ACBM は「**esmacbm**」、ACEM は「**esmacem**」になります。

- ① 対象製品をインストールする Linux サーバに root でログインしてください。（ログインはローカルコンソール、または SSH 経由のいずれでもかまいません）
- ② 以下コマンドにて現在のアップデートの適用状態を確認します。

```
# rpm -qa | grep esmac | grep _update
```

- ③ 上記②にて表示されたアップデートパッケージを、全てアンインストールします。

```
# rpm -e esmacxx_update
```

#### (2) 製品 CD からインストールしたオプション製品(ACA/ACBE)のアンインストール

- ① 以下コマンドにて ACA のインストール状態を確認します。

```
# rpm -q esmaca
```

下記が表示された場合は、②を実行します。  
下記以外が表示された場合は、③に移ってください。

```
esmaca-4.00-1.0.386
```

- ② 以下コマンドにて ACA をアンインストールします。

```
# rpm -e esmaca
```

- ③ 以下コマンドにて ACBE のインストール状態を確認します。

```
# rpm -q esmacbe
```

下記が表示された場合は、④を実行します。  
下記以外が表示された場合は、(3)に移ってください。

```
esmacbe-4.00-1.0.i386
```

- ④ 以下コマンドにて ACBE をアンインストールします。

```
# rpm -e esmacbe
```

- (3) 製品 CD からインストールした AC/ACAM/ACBM/ACEM のアンインストールと設定ファイルのバックアップ

- ① 以下コマンドにて AC がインストールされているかを確認します。

```
# rpm -q esmacxx
```

下記表示がされた場合は、②を実行します。  
下記以外が表示された場合は、(4)に移ってください。

```
esmacxx-4.00-1.0.i386
```

- ② 設定ファイルのバックアップを作成します。バックアップに使うスクリプトは ESMARC40L-05-202102\_Scripts.zip に含まれております。下記は/tmp/ac 配下にスクリプトを展開した場合の例となります。

```
# sh /tmp/ac/bkconfig.sh
```

バックアップファイル格納ディレクトリ (/usr/local/AUTORC\_Data/) が存在する場合には上書き確認のメッセージが表示されます。上書きしても良い場合は「Y」を入力して Enter キーを押してください。

※上書きを行わない場合は、「N」を入力してバックアップを中断します。

- ③ 以下コマンドにて AC/ACAM/ACBM/ACEM をアンインストールします。

```
# rpm -e esmacxx
```

## 3. 2 依存関係にあるパッケージのインストール

### (1) 依存関係にあるパッケージのインストール

AC 関連製品のアップデートインストールを行う前に、後述する依存関係にあるパッケージのインストールをお願いします。インストールは必ず、依存関係を解決したインストールを行ってください。

AC は、下記 3 つのパッケージと依存関係にあります。AC をインストールする前に、事前に下記パッケージのインストールをお願いします。下記パッケージのインストールをしない場合、以降に説明するパッケージインストールにてエラーが発生しますので、必ず下記 3 パッケージの適用をお願いします。

- 1.net-snmp-libs.i686
- 2.perl
- 3.tar

ACEM/ACAM/ACBM は、下記 3 つのパッケージと依存関係にあります。インストールする前に、事前に下記パッケージのインストールをお願いします。下記パッケージのインストールをしない場合、以降に説明するパッケージインストールにてエラーが発生しますので、必ず下記 3 パッケージの適用をお願いします。

- 1.perl
- 2.tar
- 3.glibc.i686

AC/ACEM/ACAM/ACBM を Web ブラウザ経由で設定ならびに参照をする場合には Apache が必要となります。Web ブラウザ経由での設定ならびに参照は必須ではありませんが、httpd パッケージのインストールを推奨いたします。

### 3. 3 ESMPRO/AC for Linux のアップデートインストール

アップデートインストールは下記いずれかの方法にて実施可能です。

1. コマンドラインでのアップデートインストール
2. Web ベースの管理ツール「Management Console」でのアップデートインストール

「3. 1 製品 CD パッケージのアンインストール」の作業を実施した方は、上記 1.の方法にてアップデートをお願いします。また ACBM は「Management Console」を使用しませんので、上記 1.の方法にてアップデートをお願いします。それ以外のお客様は、お客様の環境に応じて上記 1, 2 のいずれかの方法を選択願います。

#### 補足 1)

以下に表記している「esmacxx」は対象製品に合わせて読み替えてください。AC は「esmac」、ACA は「esmaca」、ACBE は「esmacbe」、ACAM「esmacam」、ACBM は「esmacbm」、ACEM は「esmacem」になります。

#### 補足 2)

rpm パッケージファイルは RHEL のメジャーバージョン毎に異なるファイルとなっております。

例： esmac-4.0.5-1.el6-i686.rpm … RHEL6 用の rpm パッケージファイル  
esmac-4.0.5-1.el7-i686.rpm … RHEL7 用の rpm パッケージファイル  
esmac-4.0.5-1.el8-i686.rpm … RHEL8 用の rpm パッケージファイル  
esmac-4.0.5-1.el9-i686.rpm … RHEL9 用の rpm パッケージファイル

パッケージ名の el6/el7/el8/el9 は以降 elx と記載します。ご利用の環境に応じて、適宜読み替えてください

#### 3. 3. 1 コマンドラインでのアップデートインストール

(1) AC/ACA/ACBE のインストールならびに設定ファイルのリストア

- ① 対象製品をインストールする Linux サーバに root でログインしてください。  
(ログインはローカルコンソール、または SSH 経由のいずれでもかまいません)
- ② rpm コマンドにより AC のアップデートパッケージをインストールします。下記例は、/tmp/AC にアップデート用 rpm ファイルを配置した場合のコマンド実行イメージです。

```
# rpm -ivh /tmp/AC/esmac-4.0.5-1.elx.i686.rpm
```

#### 注意事項)

httpd サービスをインストールしておりかつ httpd サービスが稼働できない設定となっている場合、下記エラーが表示される場合があります。esmac のインストール自体は下記エラーが出て問題はありませんので、次の手順にお進みください。

```
error:%post(esmac-4.0.5-1.i686) scriptlet failed, exit status 1
```

- ③ 次のコマンドを実行し、アップデートパッケージがインストールされていることを確認ください。

```
# rpm -qa | grep esmac  
esmac-4.0.5-1.elx.i686
```

- ④ 「3. 1 製品 CD パッケージのアンインストール」にて設定ファイルのバックアップを取っていない場合は、⑤に進んでください。バックアップを取った場合は、下記リストア用スクリプトを実行し、設定ファイルをリストアしてください。リストアに用いるスクリプトは、ESMARC40L-05-202102\_Scripts.zipに含まれております。下記は/tmp/AC 配下にファイルを展開した場合の例となります。

```
# sh /tmp/AC/reconfig.sh
```

上書き確認のメッセージが表示されます。リストアを始めるには「Y」を入力して Enter キーを押してください。

※「N」を入力した場合、リストアは中断されます。

- ⑤ rpm コマンドにより ACA/ACBE アップデートパッケージをインストールします。ACA/ACBE をお持ちでない方は、⑦へ移動願います。下記例は、/tmp/AC にアップデート用 rpm ファイルを配置した場合のコマンド実行イメージです。

```
# rpm -ivh /tmp/AC/esmacxx-4.0.5-1.elx.i686.rpm
```

- ⑥ 次のコマンドを実行し、アップデートパッケージがインストールされていることを確認してください。

```
# rpm -qa | grep esmacxx  
esmacxx-4.0.5-1.elx.i686
```

- ⑦ OS 再起動または以下コマンドを実行し、対象製品のサービスを起動してください。

Red Hat Enterprise Linux 6.xの場合 (xは任意のバージョン)

```
# /etc/init.d/esmarcsv start
```

Red Hat Enterprise Linux 7.x/8.x/9.xの場合 (xは任意のバージョン)

```
# systemctl start esmarcsv.service
```

## (2) ACAM/ACBM/ACEM のインストール

ACAM/ACBM/ACEM をお持ちでない方は、本作業は不要です。  
ACAM/ACBM/ACEM をお持ちの方は、下記を実施願います。

- ① 対象製品をインストールする Linux サーバに root でログインしてください。  
(ログインはローカルコンソール、または SSH 経由のいずれでもかまいません)
- ② rpm コマンドにより ACAM/ACBM/ACEM アップデートパッケージをインストールします。  
下記例は、/tmp/AC にアップデート用 rpm ファイルを配置した場合のコマンド実行イメージです。

```
# rpm -ivh /tmp/AC/esmacxx-4.0.5-1.elx.i686.rpm
```

- ③ 次のコマンドを実行し、アップデートパッケージがインストールされていることを確認してください。

```
# rpm -qa | grep esmacxx  
esmacxx-4.0.5-1.elx.i686
```

### 注意事項)

httpd サービスをインストールしておりかつ httpd サービスが稼働できない設定となっている場合、下記エラーが表示される場合があります。esmacxx のインストール自体は下記エラーが出ても問題はございませんので、次の手順にお進みください。

```
error:%post(esmacxx-4.0.5-1.i686) scriptlet failed, exit status 1
```

- ④ 「3. 1 製品 CD パッケージのアンインストール」にて設定ファイルのバックアップを取っていない場合は、⑤に進んでください。バックアップを取った場合は、下記リストア用スクリプトを実行し、設定ファイルをリストアしてください。リストアに用いるスクリプトは、ESMARC40L-05-202102\_Scripts.zip に含まれております。下記は/tmp/AC 配下にファイルを展開した場合の例となります。

```
# sh /tmp/AC/reconfig.sh
```

上書き確認のメッセージが表示されます。リストアを始めるには「Y」を入力して Enter キーを押してください。

※「N」を入力した場合、リストアは中断されます。

- ⑤ OS 再起動または以下コマンドを実行し、対象製品のサービスを起動してください。  
Red Hat Enterprise Linux 6xの場合 (xは任意のバージョン)

```
# /etc/init.d/esmarcsv start
```

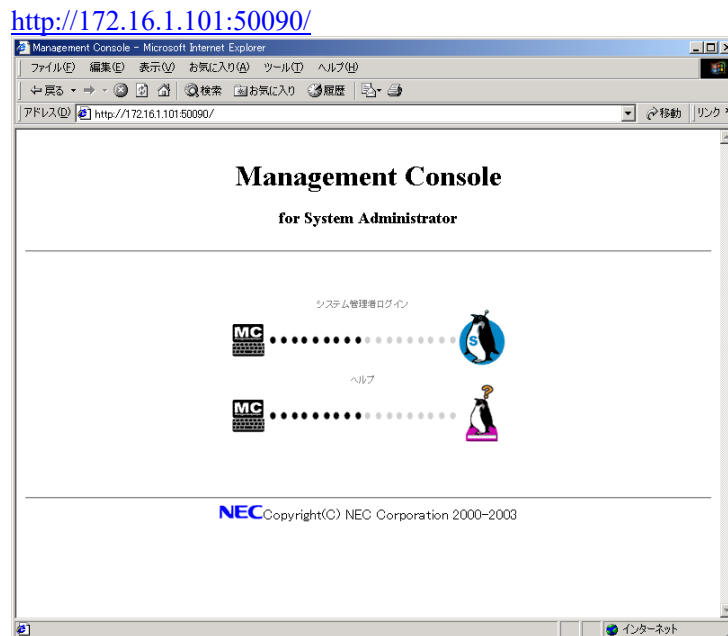
Red Hat Enterprise Linux 7.x/8.x/9.x の場合 (xは任意のバージョン)

```
# systemctl start esmarcsv.service
```

以上で、アップデート作業は終了です。

### 3. 3. 2 Management Console でのアップデートインストール

- (1) ブラウザを起動し、Web ベースの管理ツール「Management Console」に接続します。アドレスは以下のように指定しますと図のように表示されますので、管理者でログインしてください。(インストールするサーバの IP アドレスが 172.16.1.101 の場合)



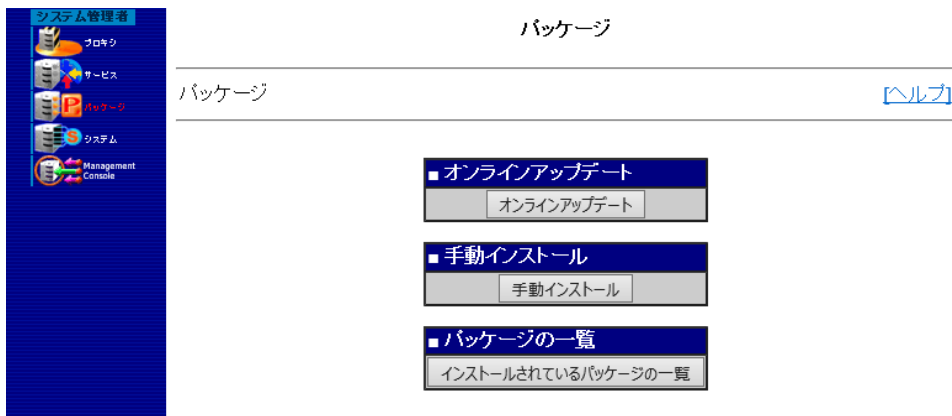
※このアドレスで指定する 50090 は「Management Console」のポート番号の設定値ですが、このポート番号は設定変更されている場合があります。

※本文中に記述した「Management Console」での各種操作手順は、機種によって若干異なる場合があります。その場合にはサーバ本体のマニュアルをご確認の上、同様の操作を行って下さい。

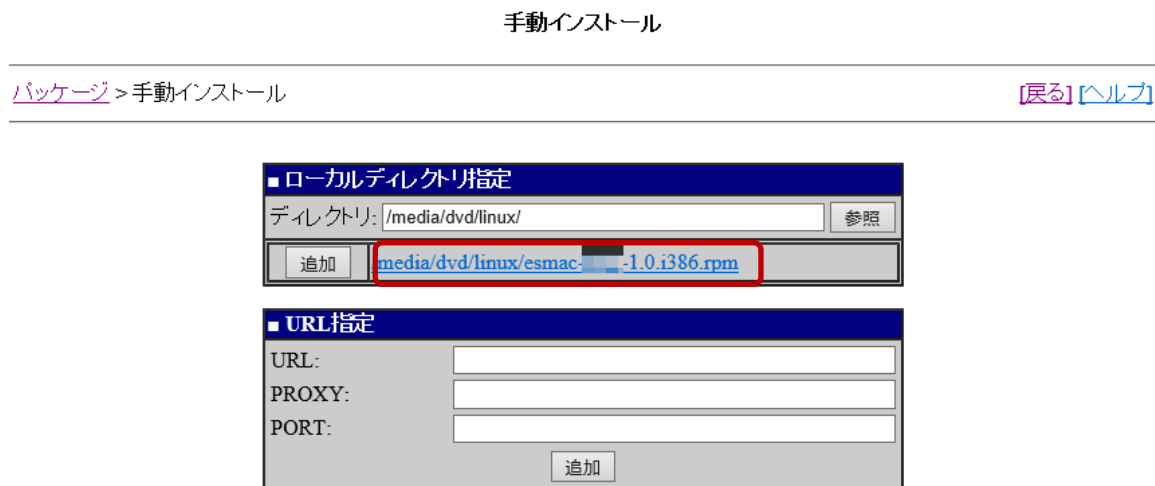
※ACBM では「Management Console」を使用しませんので、コマンドラインにてアップデートを行ってください。

(2) 以下の手順でアップデートしてください。

- ① 左側のフレームの「パッケージ」を選択します。
- ② 「手動インストール」で「ローカルディレクトリ指定」に、予めコピーしておいたアップデート用 rpm ファイル(esmacxx-4.0.5-1.elx.i686.rpm)が保存されているディレクトリを入力して「参照」ボタンを選択します。



- ③ 対象製品のアップデート用 rpm ファイルが表示されますので、「追加」ボタンを選択します。(下記は、/media/dvd/linux/を指定した場合の例です)



手動インストールしたいアップデートパッケージを指定します。製品名ごとのアップデート用 rpm ファイル名は以下の通りです。ACA/ACBE をインストール場合は、先に AC をインストールする必要がありますのでご注意ください。

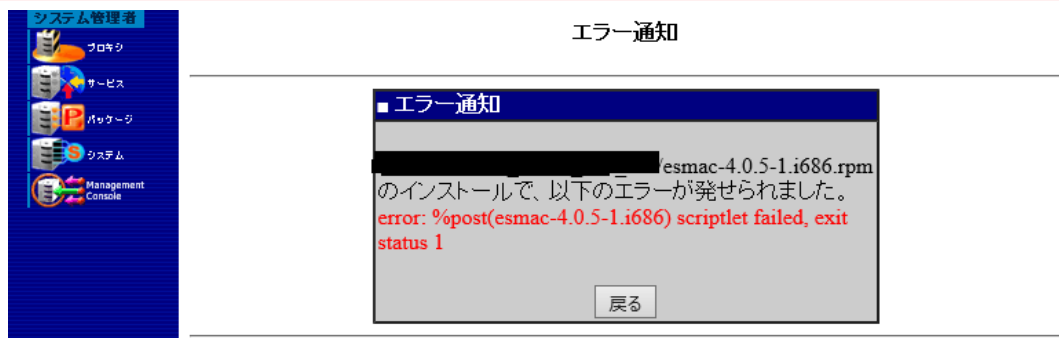
製品名	アップデート用 rpm ファイル名
AC	esmac-4.0.5-1.elx.i686.rpm
ACA	esmaca-4.0.5-1.elx.i686.rpm
ACBE	esmacbe-4.0.5-1.elx.i686.rpm
ACAM	esmacam-4.0.5-1.elx.i686.rpm
ACBE	esmacbe-4.0.5-1.elx.i686.rpm
ACEM	esmacem-4.0.5-1.elx.i686.rpm

- ④ 「インストールしてもよろしいですか?」と表示されますので、「OK」を選択してください。

**注意事項)**

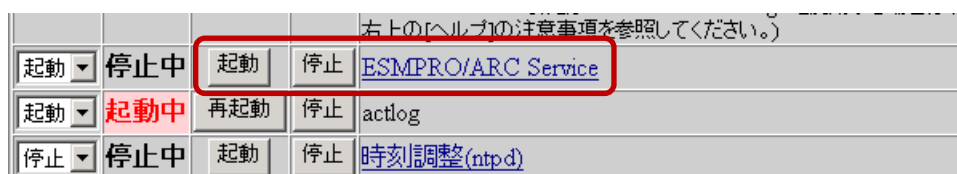
AC/ACAM/ACEM をインストールした場合、下記エラーが表示される場合があります(エラーメッセージの **esmac** 部分は製品に応じて置き換えてください)。

AC/ACAM/ACEM のインストール自体は下記エラーが出て問題はありませんので、次にお進みください。



- ⑤ 「パッケージ一覧」でインストールしたパッケージが追加されていることを確認してください。

- ⑥ OS 再起動、または左側のフレームの「サービス」を選択し「サービス」で「ESMPRO/ARC Service」の「起動」ボタンを選択します。



## 第4章 ESM PRO/AC for Linux アンインストール手順

アップデートパッケージのアンインストールは、下記いずれかの方法にて実施可能です。お客様の環境に応じて選択をお願いします。

1. コマンドラインでのアンインストール
2. Web ベースの管理ツール「Management Console」でのアンインストール

### 注意事項

ACA/ACBE がインストールされている場合、AC のアンインストールはできません。AC をアンインストールしたい場合は、ACA/ACBE を先にアンインストールしてください。

### 4. 1 コマンドラインでのアンインストール

#### 補足)

以下に表記している「esmacxx」は対象製品に合わせて読み替えてください。AC は「esmac」、ACAM は「esmacam」、ACBE は「esmacbe」、ACBM は「esmacbm」、ACEM は「esmacem」になります。

- ① 対象製品をインストールしている Linux サーバに root でログインしてください。  
(ログインはローカルコンソール、または SSH 経由のいずれでもかまいません)
- ② 以下コマンドにてアップデートパッケージをアンインストールしてください。

```
# rpm -e esmacxx
```

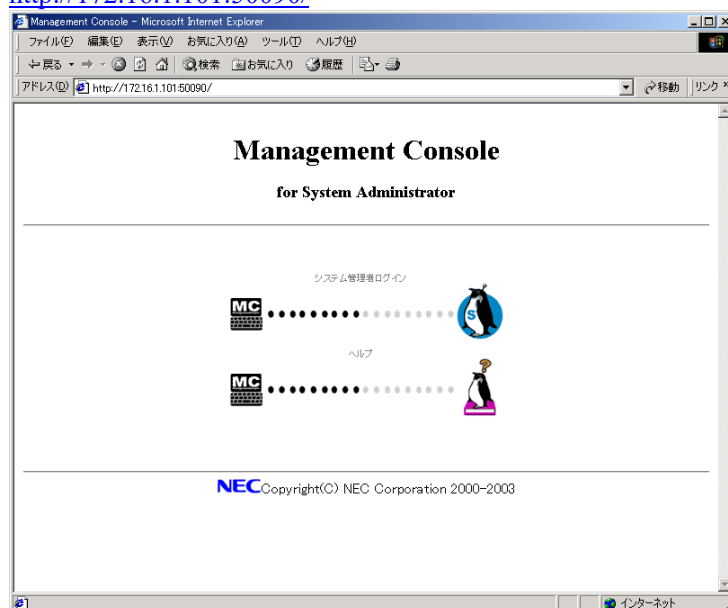
## 4. 2 「Management Console」でのアンインストール

### 補足)

以下に表記している「esmacxx」は対象製品に合わせて読み替えてください。ACは「esmac」、ACAMは「esmacam」、ACBEは「esmacbe」、ACBMは「esmacbm」、ACEMは「esmacem」になります。

- (1) ブラウザを起動し、Web ベースの管理ツール「Management Console」に接続します。アドレスは以下のように指定しますと図のように表示されますので、管理者でログインしてください。(インストールするサーバの IP アドレスが 172.16.1.101 の場合)

<http://172.16.1.101:50090/>



※このアドレスで指定する 50090 は「Management Console」のポート番号の設定値ですが、このポート番号は設定変更されている場合があります。

※本文中に記述した「Management Console」での各種操作手順は、機種によって若干異なる場合があります。その場合にはサーバ本体のマニュアルをご確認の上、同様の操作を行ってください。

※ACBM では「Management Console」を使用しませんので、コマンドラインにてアンインストールを行ってください。

- (2) 以下の手順でアンインストールしてください。

- ① 左側のフレームの「パッケージ」を選択します。
- ② 「パッケージ」で「インストールされているパッケージの一覧」を選択します。
- ③ 「パッケージ一覧」にある「esmacxx-\*」(\*は任意文字列)を選択するとパッケージ情報が表示されますので「アンインストール」ボタンを選択します。
- ④ 「アンインストールしてもよろしいですか？」と表示されますので、「OK」を選択してください。アンインストール操作の結果が表示されますので、内容を確認後、「戻る」ボタンを選択してください。

## 第5章 Windowsクライアント インストール手順

### 5. 1 製品CDパッケージのアンインストール

Windows クライアントを用いてユーザにて作成した必要なデータがある場合は、事前に手動にてバックアップを取ってください

デフォルトのデータ保存場所は、C:\Program Files (x86)\ESMAC E Client\DATAFOLDER です。

その後、対象製品のセットアップカードを参照して Windows クライアント(『マルチサーバ構成データ編集』)をアンインストールしてください。

#### 補足)

Windows クライアントは、アップデート ESMARC40L-04-202007 までは、AC/ACA/ACBE の製品別に存在していました。アップデート ESMARC40L-05-202102 より Windows クライアントを共通化しました。製品が AC/ACA/ACBE かに関わらず、共通の Windows クライアントをご利用ください。

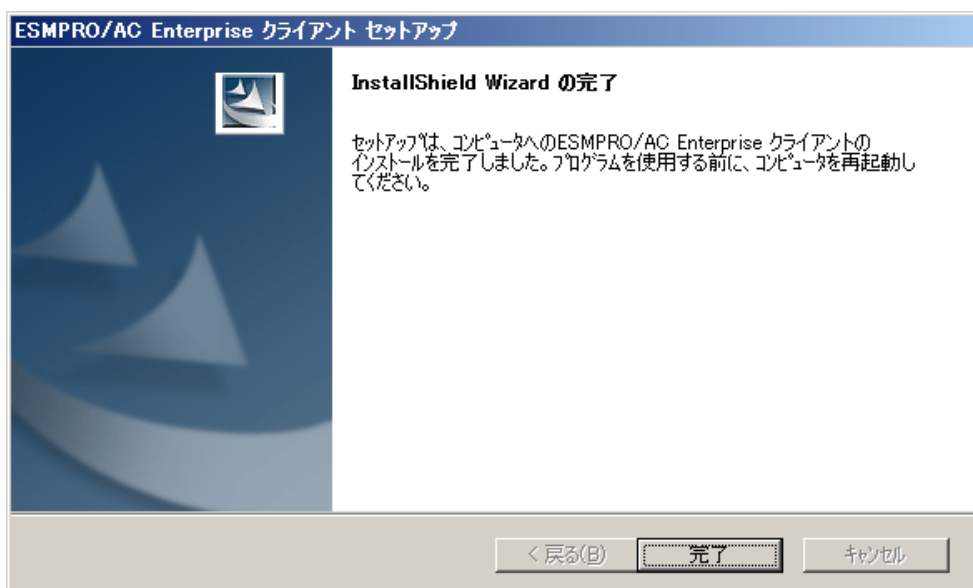
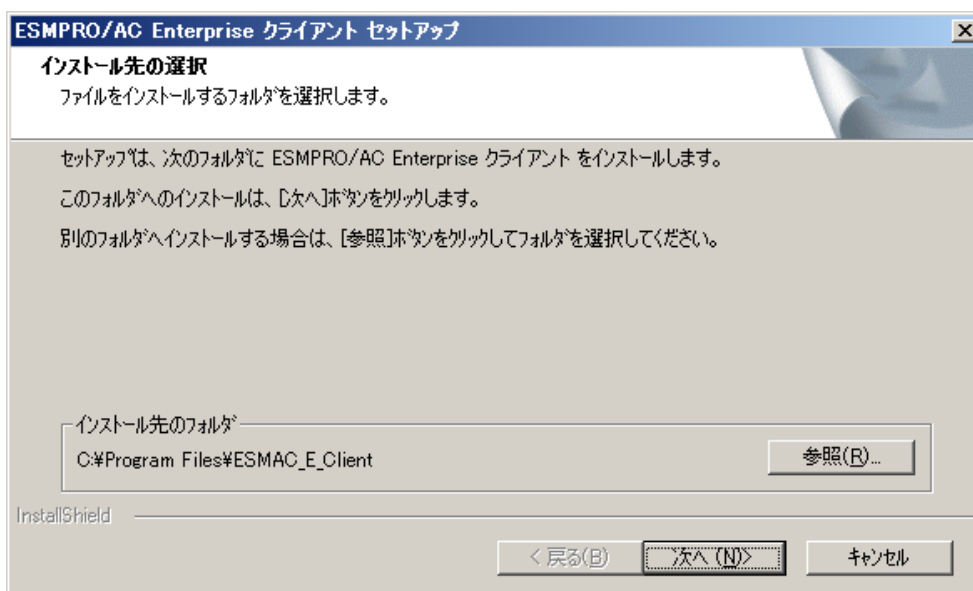
### 5. 2 Windowsクライアントのインストール

必要に応じて Windows サーバに Windows クライアント (『マルチサーバ構成データ編集』) をインストールしてください。

- ① 対象製品をインストールする Windows 端末に、Administrator もしくは Administrator 権限があるユーザにてログインしてください
- ② ダウンロードした Windows クライアントのフォルダに格納されている、コマンド acel\_install.bat を起動してください

名前	更新日時	種類	サイズ
Blade	2021/02/05 19:29	ファイルフォルダ	
client	2021/02/05 19:29	ファイルフォルダ	
acbsetup.exe	2011/09/13 10:26	アプリケーション	60 KB
acbsetup.exe.manifest	2012/06/15 13:03	MANIFEST ファイル	1 KB
<b>acel_install.bat</b>	2012/05/08 11:49	Windows バッチ ファ...	1 KB
acel_uninstall.bat	2012/05/08 11:49	Windows バッチ ファ...	1 KB
GetAcVer.exe	2011/03/30 10:02	アプリケーション	60 KB

- ③ 表示される画面に従いインストールを実施してください。



- ④ ACBE を利用する場合は、ダウンロードしたファイルの Blade 配下にある AC\_B\_DEP で始まる2ファイルを、前述のインストール先(デフォルト C:\Program Files (x86)\ESMAC\_E\_Client)フォルダ配下にコピーしてください。

名前	更新日時	種類	サイズ
Blade	2021/02/05 19:29	ファイル フォルダ	
client	2021/02/05 19:29	ファイル フォルダ	
acbsetup.exe	2011/09/13 10:26	アプリケーション	60 KB
acbsetup.exe.manifest	2012/06/15 13:03	MANIFEST ファイル	1 KB
acecl_install.bat	2012/05/08 11:49	Windows バッチ ファ...	1 KB
acecl_uninstall.bat	2012/05/08 11:49	Windows バッチ ファ...	1 KB
GetAcVer.exe	2011/03/30 10:02	アプリケーション	60 KB

名前	更新日時	種類	サイズ
AC_B_DEPEXE	2020/04/10 13:04	アプリケーション	653 KB
AC_B_DEPEXE.manifest	2017/06/15 19:39	MANIFEST ファイル	1 KB

## 第6章 Windowsクライアント アンインストール手順

### 6.1 Windowsクライアントのアンインストール

- ① アンインストール対象製品がインストールされている Windows 端末に、Administrator もしくは Administrator 権限があるユーザにてログインしてください
- ② ダウンロードした Windows クライアントのフォルダに格納されている、コマンド `acecl_install.bat` を起動してください

名前	更新日時	種類	サイズ
Blade	2021/02/05 19:29	ファイル フォルダ	
client	2021/02/05 19:29	ファイル フォルダ	
acbsetup.exe	2011/09/13 10:26	アプリケーション	60 KB
acbsetup.exe.manifest	2012/06/15 13:03	MANIFEST ファイル	1 KB
acecl_install.bat	2012/05/08 11:49	Windows パッチ ファ...	1 KB
acecl_uninstall.bat	2012/05/08 11:49	Windows パッチ ファ...	1 KB
GetAcVer.exe	2011/03/30 10:02	アプリケーション	60 KB

- ③ 表示される画面に従いアンインストールを実施してください。

